

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた ヒアリング調査

調査結果報告書

（第3回東郷町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会用）

— 目次 —

1	ヒアリング調査の概要.....	1
2	ヒアリング調査結果.....	2
	（1）団体の活動について	2
	（2）活動を通して見える地域の状況について	8
	（3）今後の活動について	10

1 ヒアリング調査の概要

■調査の目的

地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に当たり、地域福祉に関するボランティア団体など福祉関係団体等を対象に、町内における地域福祉を取り巻く現状や課題、今後の方向性についての意見を聴取し、計画策定の基礎資料とします。

■調査対象団体

下記の計 29 団体となっています。

区分	団体名
子ども・子育て支援 (4 団体)	・ まつぽっくり ・ 親子であそぼう会 ぽっぽちゃん ・ 10and. 一てんとー ・ じゃりんこ広場
青少年健全育成 (1 団体)	・ ボーイスカウト（東郷第1 団）
障がい者支援 (6 団体)	・ 身体障害者福祉協議会 ・ 東郷町精神障がい者連絡協議会 ・ 手話サークル笑 ・ 東郷町知的障害児・者連絡協議会 ・ NPO 法人金曜グループ ・ ゆうゆう
高齢者支援 (6 団体)	・ 和話の会 ・ 清水コミセンいきいきサロン ・ 愛知県健康づくりリーダー連絡協議会豊明支部東郷地区 ・ おしくさサロン ・ 秋桜の会 ・ 白ゆりグループ
地域活動 (10 団体)	・ 東郷町国際交流協会 ・ 東郷町食生活改善推進員協議会 ・ 東郷消費者クラブ ・ 白土防犯パトロール隊 ・ 東郷町商工会青年部 ・ 傾聴まごころ ・ とにとクラブ ・ 部田あるき隊 ・ 御岳防犯パトロール隊 ・ オレンジキャップ
更生保護 (2 団体)	・ 東郷町更生保護女性会 ・ 愛知保護区保護司会東郷部会

■調査実施方法

調査票による記入方式

■調査期間

- ・ 調査票の配布：平成 31 年 1 月 10 日（木）
 - ・ 回答期限：平成 31 年 1 月 24 日（木）
 - ・ 聴き取り調査：平成 31 年 2 月 27 日（水）
- 調査票に記載された課題やニーズ等をさらに伺うため 4 団体に実施

■調査項目

A 団体のことについて

(活動年数、会員数、主な活動範囲、活動開始のきっかけ、主な活動内容 等)

B 団体の活動について

(地域と一緒にやっていること、各団体等との連携状況、今後の各団体等との連携意向、活動上困っていること、町民が活動に気軽に参加できるための取組 等)

C 活動を通して見える地域の状況について

(活動を通じて見聞きしている日常の困りごとと対応できるもの・できないもの、地域福祉の推進に必要なこと)

D 今後の活動について

(役場や社会福祉協議会に望むこと、役場や社会福祉協議会との協働で取り組めること、自由回答)

2 ヒアリング調査結果

注) 結果は、聞き取りによる意見も含みます。

注) 本文中に示す「N」は、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表す。

(1) 団体の活動について

問1 貴団体の活動の中で、地域の方と一緒にやっていることや、地域に向けて行っていることはありますか。(記述回答)

○地域のイベントへの参加・イベントの主催

- ・児童館マルシェやセミナーの開催
- ・男性や親子向けの料理教室・介護料理教室の開催
- ・自治会主催のイベント(盆踊り・餅つき大会等)への参加・協力
- ・防犯パトロールの実施

○地域に出向いての活動

- ・福祉実践教室での活動
- ・茶話会や老人会での出前講座の講師

○町の行事への参加・協力

- ・文化産業まつり、こどもエコばなばく、保育園・児童館でのイベント、社会を明るくする運動の街頭活動、薬物乱用防止活動等への参加・協力

問2 貴団体では、地域での活動等の際に、どのような団体等と連携して活動されていますか。(複数回答)〈連携した活動がある団体は〉具体的な内容を教えてください。

連携している団体は、「東郷町役場」が最も多く、次いで「東郷町社会福祉協議会」「区・自治会」となっています。

○現在連携している団体等 (N=23)

団体等	件数	団体等	件数
東郷町役場	14	障がい者相談支援センター	3
東郷町社会福祉協議会	13	愛知県庁	3
区・自治会	8	医療機関	2
保育所・幼稚園・学校	6	地域包括支援センター	2
老人クラブ	5	子ども会	0
福祉施設・福祉サービス事業所	4	防災組織	0
児童館・子育て支援センター	4	その他	2
ボランティア、NPO、福祉活動団体	3	特になし	2

※その他の回答：愛知警察署、他市町、近隣市、名古屋保護観察所、更生施設

○現在連携している内容

- ・児童館・子育て支援センター：児童館でマルシェを開催。母親が出展し、参加している。
児童館の行事にサークルとして参加している。
- ・区・自治会：コミセンの使用
- ・福祉施設・福祉サービス事務所：施設入所者の話し相手を務めている。
- ・東郷町役場：職員向け研修の実施
- ・東郷町社会福祉協議会：補助金の受給、講師の派遣
- ・障害者相談支援センター：障害がある人の話を聞く、料理教室の開催
- ・愛知警察署：合同パトロールの実施

問3 問2の回答について、なぜ交流や協力ができていると思いますか。(記述回答)

○連絡の取り合いや交流

- ・連絡会で意見交換をしている。日頃のコミュニケーションが必要。

○活動への理解や支援

○信頼関係の構築

- ・社協の職員の方が積極的に関わってくれているから。
- ・活動を長く続けることによって団体との親交が深まる

○その他

- ・関係する協会と協力し合って活動を進めている。
- ・社協にボランティア登録をしている。

問4 今後活動を行う中で連携をとりたい組織や団体はありますか。(単数回答)

「ある」は11団体、「特にない」は10団体となっており、連携を取りたい団体は回答団体の半数となっています。

<問4で「ある」と回答した団体への設問>

問4-1 これから連携をしたい組織や団体はどこですか。(複数回答)

これから連携したい団体は、「保育園・幼稚園・学校」が最も多く、次いで「区・自治会」「防災組織」「東郷町役場」となっています。教育・保育施設や地域活動組織、行政との連携を希望する団体が多くありました。

○これから連携したい団体等 (N=23)

団体等	件数	団体等	件数
保育園・幼稚園・学校	6	老人クラブ	2
区・自治会	5	地域包括支援センター	2
防災組織	4	障がい者相談支援センター	2
東郷町役場	4	福祉施設・福祉サービス事業所	1
子ども会	3	医療機関	1
児童館・子育て支援センター	3	愛知県庁	0
東郷町社会福祉協議会	3	その他	2
ボランティア、NPO、福祉活動団体	2	特にない	0

※その他の回答：民生委員、愛知警察署

問４－２ 問４－１の回答について、なぜその組織や団体と連携をしたいと思いますか。選択した番号と連携したい内容を記入してください。（記述回答）

○幅を広げた活動展開

連携したい団体	連携内容
地域包括支援センター	・（現在は子育て世代が中心なので）連携して多世代交流をしたい。
区・自治会	・地域での子育てを目指しており、コミュニティセンターを使用することが多いので、もう少し協力、理解してもらえるとやりやすい。
保育園・幼稚園・学校	・サークルで地域交流のイベントを行うとしたら参加してもらいたい。
防災組織	・防災組織との連携をしておく災害のときに地域の栄養士としてどのようなことができるかを考えておくことができるのではないか。
児童館・子育て支援センター	・子どもたちへのおやつ等、児童館等で食に関わる取組を通じて入っていけると良い。

○活動の充実

連携したい団体	連携内容
防災組織 東郷町役場	・これから起こるであろう地震に対して、避難所等で平等に皆さんと協力し合って生活できるように防災訓練等に参加したい。 ・防災訓練に障がい者の参加が少ない。この問題に対し、まずは障がい者だけ集まって意見を出し合い、改善策を立ててから、健常者と一緒に集まって訓練を行うのが良い。
区・自治会	・地域の行事にあわせて失われつつある特性（例えばおこしもの、味噌作りなど）を食育や伝承も含めて連携していけると良い。

問5 他の組織・団体と連携しようとするうえで困っていることがあれば教えてください。（記述回答）

○活動の範囲や進め方

- ・まだこれからですが、どう声をかけていくか、かけていったらいいかわからないところ。
- ・実際にどこまで動けるのか不明ではあります。

○活動の継続

- ・今のメンバーの年齢が70歳前後になり、活動に対する意欲と体力が落ちてきているため、継続が難しくなっている。

○その他

- ・堅苦しい会議ではなくざくばらんに話し合える場所がよい。

問6 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（複数回答）

活動上の困っていることは、「新しいメンバーが入らない」が最も多く、次いで「支援を必要とする人の情報が得にくい」「活動のマンネリ化」となっています。活動の担い手の問題や活動の展開に関して困っていることがある現状が伺えます。

○困っていること（N=23）

選択肢	件数	選択肢	件数
新しいメンバーが入らない	13	町民に情報発信する場や機会が乏しい	3
支援を必要とする人の情報が得にくい	7	他の団体と交流する機会が乏しい	2
活動のマンネリ化	6	人々のニーズに合った活動ができていない	0
活動資金が足りない	5	特に困ったことはない	5
後継者がいない	4	その他	0
活動の場所（拠点）の確保が難しい	4		

問7 町民の方が貴団体の活動に気軽に参加できるよう、1回のみ活動に参加することは考えられますか。(単数回答)

「活動の内容によっては、1回のみ参加してもらうものがあるのも良い」が最も多くなっています。

○ 1回のみ活動に参加可能か (N=23)

選択肢と回答	件数
固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい	5件
活動の内容によっては、1回のみ参加してもらうものがあるのも良い	8件
常に1回のみでの形でよいので、参加してもらえると助かる	3件
その他（記述回答） ・いつでも自由に見学に来ていただいています。 ・年会費をいただいているので、できれば1年間継続していただきたい。 ・勉強会を行っています。参加してみてください。歓迎いたします。	6件
無回答	1件

(2)活動を通して見える地域の状況について

問8 普段活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか。(記述回答)

問9 その中で、貴団体が対応できるもの・対応できないものにはどんなことがあげられますか。(記述回答)

○困りごとを抱えた人への支援

お聞きする困りごと・問題	団体が対応できるもの・できないもの
宅配の不在票が入っていたとき、(聴覚障がいにより)電話ができない。(電話ができないので、宅配の営業所まで取りに行くことがある。家にパトライトをつけるところもあるが、宅配の人が来ても分からないことがある。) 緊急事態発生時。Net119に登録していて助かった人もいるが、まだまだ登録していない人もいる(現在のWeb119も含む)。	対応できるもの：ボランティアでできる範囲とは？ 対応できないもの：各種契約、病院等手話通訳の資格が必要なもの
認知症がひどすぎて役場に相談にさえ行けない。車に乗れなくなったときに近所付き合いの差で移動できる範囲が異なる。	対応できるもの：話を聞く。
オレオレ詐欺のようなことがあったら役場に相談するように声をかけており、会員は日々色々な方と話をしていますが、大きな問題はないように思います。たぶん介護のことの悩みなどを聞く機会も多いとは思いますが。	対応できるもの：個々の悩みごとを傾聴することはできていると思います。 農協の茶話会に参加した会員が、参加者の中に異変を感じた人がいたら、包括支援センターにつないでいる。 対応できないもの：問題が深いこと。
子育て支援活動として各所へ伺うが、職員が人手不足のようで依頼が多い。	対応できるもの：人手の依頼なので対応できるだけ行っている。

○情報提供

困りごと・問題	対応できるもの・できないもの
母の孤育て、 子育ての正しい情報が得づらいこと	対応できるもの：子育て情報誌をつくる(これからつくりたい)。マルシェで母同士のつながりをつくる。セミナーで正しい知識を発信する。
①子育ての悩み、病院に関する情報。 ②外国人の方は車ではなくバスを使っているため、バスで行けないところがあり、不便です。	対応できるもの：①相談にはのれるし、子育ての関する口コミの交換はできます。 ②メンバー内で送り迎えをする。

○地域活動

困りごと・問題	対応できるもの・できないもの
高齢者の一人暮らしが増え、食事面での不安などが生じている。	対応できるもの：老人クラブとの連携による料理教室
行先がわからなくなった人を探してあげたり車のルームランプが付いていたのを知らせるようなことはしたりしました。	対応できるもの：酔っ払いが道路で寝ていたら起こしてあげる、野焼きの火の後始末など
不審者対応。民生委員からの連絡で春木交番へ相談し、翌日対応いただいた。今後も支援団体とのジョイントを深めたい。	対応できるもの：パトロールの強化 対応できないもの：防犯カメラの設置
パトロール活動の内容の充実と回数の増加	対応できるもの：能力の範囲で期待に応えたい。 対応できないもの：能力的にできないもの

○その他

困りごと・問題	対応できるもの・できないもの
道路が狭く歩道も整備されているところが少ないため、歩いて行動するのが大変であること。	-

問 10 年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「地域の人と交流できる場の整備」が最も多く、次いで「支援が必要な人への支援」「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」が続いています。普段からの地域での交流、また、支援が必要となった時に身近な場所で相談できたり、支援を受けられたりする体制を求める傾向がみられます。

○誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため必要なこと (N=23)

選択肢	件数	選択肢	件数
地域の人と交流できる場の整備	13	災害時における体制の整備	4
支援が必要な人への支援	7	買い物がしやすい環境づくり	3
日常生活に関する身近な相談窓口の整備	6	自主防災組織等の整備	2
道路や建物のバリアフリー整備	5	バスなどの公共交通手段の整備	0
公園や緑地などの自然環境の整備	5	スポーツや文化教養活動の環境整備	0
ネットワークづくり、見守り体制の整備	4	その他	0

(3) 今後の活動について

問 11 貴団体が活動をしていく上で役場や社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。(複数回答)

団体が今後活動をしていく上で役場や社会福祉協議会に望むことは、「経済的支援(活動資金など)」が最も多く、次いで「会員募集の支援」「活動上必要な情報の提供」「活動場所の提供」となっており、資金、担い手、活動の展開に関する情報への支援を求めています。

○役場や社会福祉協議会に望むこと (N=23)

選択肢	件数	選択肢	件数
経済的支援(活動資金など)	13	リーダーの養成支援	3
会員募集の支援	11	団体運営上の助言	3
活動上必要な情報の提供	9	成果の発表の場の提供	0
活動場所の提供	9	特になし	1
団体や活動についてのPR	6	その他	1
設備・備品の充実	5		

※その他の回答：町バス、公用車の利用

問 12 今後、貴団体として役場や社会福祉協議会との協働でどのようなことに取り組めると思いますか。（記述回答）

○活動の支援

- ・依頼されたことに対しては積極的に参加・協力します。自治会、民生委員の方と連携できる体制をとれることが望ましいと考えます。
- ・講座なども参加して色々勉強させていただいていますので、地域の見守りなども少しずつできるかと思います。各々がどのようなアンテナを立てて地域の人の生活を見守り、安全で便利で過ごしやすい生活をできるようにしていくのか、役場や社協の方から声掛けをしていただいて、少しずつ進めていければよいかと思います。

○情報提供や相談対応の拡充

- ・子育て情報を今のお母さんに届きやすい形で発行することをしたいです（紙、HP、LINE）。マルシェや子育てセミナーなどで協働できるのでは。
- ・社協との協働で子どもや障害者、高齢の方々との健康な食生活を考えることができるような相談に対応できるようなことがあれば声をかけていただけるとよいと思います。

問 13 地域福祉の推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。（記述回答）

○地域でのつながり

- ・人生 100 年の時代で、ますます高齢社会に突入です。今以上に若者に負担が。そのため、1 つが健康長寿化と思います。高齢者が集う、楽しく出かけて見たい場所が必要ではないと思います。
- ・これから起こるであろう災害に対して、障害者を含めた体制を早く作ってほしい。防災訓練に障害者も参加できると良い。
- ・いろんな障がい者団体が集まって、障がいについて理解を深めたり、交流したりすると良い。そのためには、どこにどんな人がいるのかを知りたい。
- ・今後、多様化していくニーズにこたえて寄り添ってくれる人が色々な場所にいることは必要だと思います。
- ・少しずつ住みやすい地域にするため、健康に過ごしていくために、町民全員が幸せになるために何をしていくのか、色々考えることや交流できる場の保障を考えていただけるとよいかと思っています。まずはあいさつから始めて声掛けができるように話ができるようになることが大切ですね。

○団体活動のあり方

- ・子育ては、それをきっかけに地域のことに目が向くチャンスだと思います。そのための生きた支援が必要であり、町と協働していくことで地域を支える母を増やしたいと思っています。
- ・町民協働活動を盛り上げるために、ハンドメイドをしている人、児童館に積極的に来ている人などに話を持ちかけると良いのでは。
- ・他のボランティア団体との交流が少ないため、連携することができない。それぞれのボランティア団体の活動内容がわからないので PR の場が必要だと考えます。

○役場や社会福祉協議会への意見・要望

- ・視覚障害者の情報を得にくいので、何とかならないか。個人情報だから難しいのか。
- ・福祉活動の充実のためにはボランティアの利用が不可欠です。可能な範囲での支援、情報の提供等が必要であり、これに対する手続きの緩和が必要です。
- ・公共の交通機関の整備、買い物しやすい店舗数と場所（町内配置）、訪問医療の拡充など。